琵琶湖・森林政策特別委員会　県内行政調査

１　調 査 日　　令和６年７月16日（火）

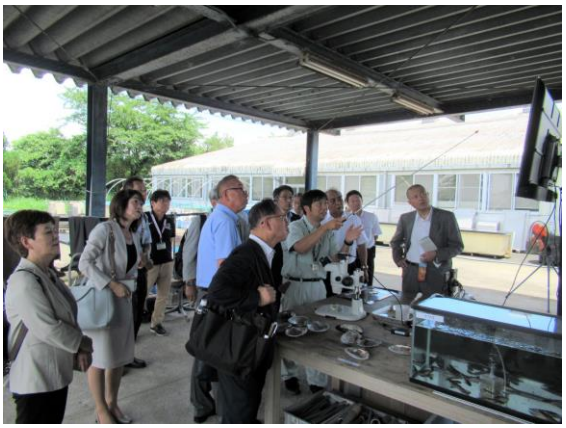
２　調査の概要

（１）滋賀県水産試験場（彦根市八坂町）

滋賀県水産試験場は、琵琶湖漁業にかかる唯一の試験研究機関であり、水産資源のモニタリングや保全技術などの研究と普及指導を担っている。

現在、琵琶湖の淡水真珠は生産量が低迷した状況にあるが、その美しさや希少性から、めぐみ豊かな琵琶湖を象徴するかけがえのない地域資源であり、本県の淡水真珠産業を維持し、次世代にその技術を継承していく必要がある。

ついては、今後の委員会活動の参考とするため、同試験場を訪問し、琵琶湖の真珠養殖の再興に向けた取組等について調査した。



（２）滋賀もりづくりアカデミー（野洲市北桜）

県土の約半分の面積を占める滋賀県の森林は、琵琶湖や淀川流域の重要な水源であり、土砂の流出を防ぎ、二酸化炭素を吸収するなど私たちの暮らしと切り離すことのできない貴重な財産である。

森林整備を担う林業従事者は、年々高齢化が進むとともに減少傾向にあり、さらに新しい知識や技術への適応など、高度なスキルが求められている。

滋賀もりづくりアカデミーは、これらの課題に対応するために、森林・林業人材の育成機関として令和元年６月に開講された。今後の委員会活動の参考とするため、同アカデミーを訪問し、林業従事者の人材確保、育成に係る取組について調査した。